

港中だより

伊勢市立港中学校 No.21

R3. 12. 2

校長 金森 晃生

快挙！文部科学大臣賞受賞 藤原芯樹さん

先日、「小さな親切運動」作文コンクールの審査発表がありました。その結果、港中学校2年生の藤原芯樹さんが、総理大臣賞（全国で1人）に次ぐ、文部科学大臣賞（全国で1人）を受賞しました。本来ならば、東京で文部科学大臣から表彰される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、表彰式が中止になりました。表彰式はありませんが、大変すばらしい賞をいただきました。この「小さな親切運動」は昭和38年3月、東京大学の卒業式において、当時の茅誠司（かや せいじ）総長が告辞の中で送った言葉がきっかけとなって始まりました。「できる親切はみんなでしょう。それが社会の習慣になるように。」と小さな親切が重要だと話されました。私も「思いやりの心を大切に」といつも話しています。思いやりの心も親切に通じることです。これから、みなさんも、勇気をもって「小さな親切」を実行してほしいと思います。

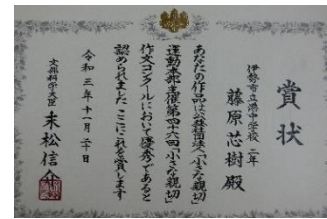
以下に、藤原さんが受賞した作文を掲載します。みなさんもこの作文を読んで、改めて親切について考えてください。

「親切の形」 藤原 芯樹

「なあ芯樹。優しさや親切って難しいな」

突然、母が言った。

僕の祖父は脳梗塞で入院していた。発見が早かったので一週間の入院ですみ、後遺症も残らなかったから良かった。でも僕は祖父が退院してきてからも祖父の為に出来る事はないかと一生懸命に考えて行動した。祖父がしようとしている事を先回りしてやっていた。僕はそれを小さな親切だと、僕からのお礼だと思っていた。小さな事だけれど食後の食器の片付けや、玄関で靴を履く時に手伝った。その度に祖父は「すまん。ありがとな。」と言ってくれた。僕も祖父を助けられて嬉しかった。だから母の言葉に驚いた。僕は母にゆっくり話をしようと部屋に連れていかれた。そして何を言われるだろうと思っていたら、「いつも祖父に優しく、親切にしてくれてありがとう」と言ってくれた。僕はホットしたけれど、母は直ぐに最初の言葉に戻った。母はゆっくりと僕に祖父の症状を話してくれた。本当に軽症で後遺症は何も残ってない事。今迄と変わりのない生活が出来る事。そしてそれを自分の力でする事がリハビリになる事。今は祖父を見守る事が家族の出来る一番の優しさだと言った。僕の親切も立派な親切だけれど、もう少し小さな親切にしてほしいと言った。僕はきっと納得がいかない顔をしていたと思う。母は祖父に気付かれないように、僕に祖父の姿を見せた。祖父は食後の食器もスッと下げて、玄関の靴も今まで通りに履けていた。僕はびっくりした。そんな僕に母は、「次の親切は近くでそっと見守る事。でも、もし祖父が困っていたら直ぐに助けてあげてな。祖父、芯樹が親切にしてくれるって喜んで



たで。」と言った。そして「親切」の漢字の意味を教えてくれた。親を切るって書いて親切だけど、親切の親は「親しい、身近に接する。」親切の切は「心からひたすら強く、切に願う。」親切という漢字には「より親しい」という思いも込められていると教えてくれた。相手をより親しく大切に思う気持ちが親切に結びつくとは僕が知った。僕は今まで親切は行動で表すものと思っていた。もちろん、行動で表せなければ伝わらない親切も沢山ある。でも今の祖父に僕が出来る親切は祖父を見守る事だと分かった。正直、気持ちだけの親切は祖父に伝わるのか不安はあるけれど、生まれてからずっと一緒にいる祖父と僕には絆がある。これからも僕はより親しく、より大切に祖父を見守っていきたいと思った。

親切の形は色々ある。でも相手を思って優しくする事で、それは全て親切に結びつくとは僕は思っている。色々な形の親切が組み合っ一つになり、僕達は今、親切に守られて幸せに暮らしていると思う。これからは親切だけではなく、何事にでも守られるだけではなく、守れる、そして守る大人になるように、僕は体も心も成長していこうと思った。

ちょっといい話

先日、学校で、生徒のみなさんを地域が支援していくための会議を行いました。参加していただいた方々は、健全育成会、自治会、民生委員、児童委員、保護司、駐在所の各代表者と小学校の校長先生方です。学校や地域や生徒のみなさんの様子について話しています。その中で、みなさんの安全を見守ってくださる警察官の方から「朝、交差点に立っていると、生徒のみなさんがあいさつをしてくれる。大変いい気分になる。」とほめていただきました。大変うれしいことです。これからも、警察官の方以外でも、黄色い旗を持っていたり、黄色の帽子をかぶっていたりみなさんの安全を見守ってくれている方々などにも、積極的にあいさつをしましょう。

お知らせ

- ①前号（20号）の修学旅行の特集につきまして、写真の写りがあまりよくありませんでした。港中学校のホームページにも「港中だより」を掲載していますので、そちらを見ていただきますと、写真もきれいにご覧いただけます。また、併せて学校の情報も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
- ②遅くなりましたが、運動会の「港中ソーラン」の動画を、港中学校のホームページ「学校行事デジタル配信」にアップしました。パスワードは子どもたちを通じてお知らせしました。なお、画像の再生は▶をクリックするのではなく、画面の左下にカーソルを合わせると▶の周辺が赤くなりますので、その時にクリックしてください。よろしく願いいたします。

～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、さらに各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。

学校再開後2か月がたちました。教育活動は10月以降、ずいぶん詰め込んだ形になっています。その中で私は、子どもたちが元気になった反面、少し疲れてきているかなあとも感じています。学校生活も少しずつコロナ禍以前に戻りつつありますが、全く心配がなくなったわけではありません。これからも感染症要望対策を講じながら、すすめていきます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。6日に行われます、合唱発表を参観される保護者の方は、マスクの着用と上履きの持参をお願いいたします。また、換気をしますので、防寒着をご準備ください。